

< 地産地消型再生可能エネルギー発電等設備一覧 >

当社では、2030年にCO₂実質排出量を2013年比で50%削減、2050年に実質排出量ゼロを目標に様々な取り組みを推進しています。

2012年から再生可能エネルギーの使用を推進しており、新築事務所の屋上や工場の建屋に太陽光設備を設置することで、事業活動で使用する電力の一部を再生可能エネルギーで賄っています。また蓄電池やV2Hと一緒に設置することで、無駄なく余剰電力を活用でき、また自社や地域が災害に遭った際のBCP対策にも備えています。

現在は、全国約38カ所に設置しており、今後も積極的に増設していく予定です。

直近の設備としては、下記となります。

【導入目的】

- ・電気使用量及びCO₂排出量削減のため

【再エネ設備を導入してよかった点】

- ・敷地内のスペースを有効活用してCO₂排出量削減効果が得られ、また自社や地域が災害に遭った際のBCP対策に備えられる。

【省エネ対策の取組内容】

- ・太陽光発電システムの導入により省エネの推進に取り組んでいる。

【導入した設備の概要】

設置場所詳細	設置年度	太陽光発電容量	年間想定 発電量	太陽光発電 出力・設置枚数	パワーコンディショナー 出力・設置台数
本店 技術研究所 茨城県土浦市大畑208 事務所屋根上に設置	2024年度	150kW	192,394kWh	トリナソーラー製 TSM-NEG9R.28 450W×401枚	安川電機製 CEPT-P3AU2025B 25kW×1台 CEPT-P3AT2025B 25kW×5台
東京支店 瑞穂合材工場 東京都西多摩郡瑞穂町殿ヶ谷土手内533番地 事務所屋根上とストックヤード設置	2024年度	74kW	77,906kWh	トリナソーラー製 TSM-NEG9R.28 450W×165枚	安川電機製 CEPT-P3AU2025B 25kW×1台 CEPT-P3AT2025B 25kW×2台